



2024年3月期 決算説明会資料

2024年5月10日

アリアケジャパン株式会社（証券コード2815）

目 次

02-07	2024年3月期決算のポイント	18	設備投資の推移（連結・単体）
08	売上高推移（単体・連結）	19	減価償却費の推移（連結・単体）
09	営業利益推移（単体・連結）	20-23	当期計画
10	経常利益推移（単体・連結）	24-27	中期3年事業計画
11	親会社に帰属する 当期純利益推移（単体・連結）	28-29	アリアケジャパン成長のビジョン
12	売上高（対前年実績）	30-31	中国市場の成長戦略
13	売上高（対前年実績、対計画）	32	米国市場への再進出
14	営業利益（対前年実績）	33	設備投資予定
15	営業利益（対前年実績、対計画）	34-35	資本コストや株価を意識した経営
16	単体業績の概要〔利益変動要因〕（前期比較）	36-38	サステナビリティへの取組
17	単体業績の概要〔利益変動要因〕（計画比較）	39	アリアケグループ「世界7極体制」

〔補足資料〕 決算のポイント

2024年3月期決算のポイント（総括）

□ 連結

増収・増益

経常利益 対前年15.5%増 純利益 対前年15.2%増

□ アリアケジャパン単体

増収・増益

経常利益 対前年21.9%増 純利益 対前年17.9%増

□ 増配による株主還元実施

通期110円/株 DOE3% 配当性向 47.6%

□ 2025年3月期 業績予想

増収・増益

連結：売上628億円（+4.7%）営業利益99億円（+14%）営業利益率15.8%

単体：売上460億円（+2.9%）営業利益69億円（+17%）営業利益率15.0%

ARIAKE JAPAN CO.,LTD.

2

2024年度3月期決算ポイント（要約）

項目	実績	前年	前年 増減	前年 比	計画	計画 増減	計画 比
連結売上	599.8	557.0	+42.8	7.7%	594.0	+5.8	1.0%
連結営業利益	86.6	84.6	+2.1	2.4%	93.0	-6.4	-6.9%
連結経常利益	107.1	92.7	+14.4	15.5%	100.0	+7.1	7.1%
連結純利益	73.5	63.9	+9.7	15.2%	69.0	+4.5	6.6%
単体売上	447.0	426.9	+20.1	4.7%	440.0	+7.0	1.6%
単体営業利益	59.2	57.1	+2.1	3.7%	66.0	-6.8	-10.2%
単体経常利益	79.2	64.9	+14.2	21.9%	71.0	+8.2	11.5%
単体純利益	55.6	47.1	+8.4	17.9%	50.9	+4.7	9.2%

※単位は億円 四捨五入して記載 前年比・計画比は、%表記 符号未記載は+

ARIAKE JAPAN CO.,LTD.

3

2024年度3月期決算のポイント（連結）

□ 売上

連結売上高599.8億円（対前年+42.8億円+7.7%）と2018年度の566億円を更新し、過去最高の売上高となりました。単体、子会社とも順調に伸長しました。

□ 営業利益

86.6億円と増益（対前年+2.1億円）となりました。営業利益率は14.4%でした。想定以上の円安の進行、原材料高の継続により、アリアケジャパン単体の営業利益の改善が計画を下回りました。（対計画-6.8億円）

□ 経常利益・純利益

輸入原料調達のためデリバティブ取引による外貨を調達したことなどにより、経常利益は107.1億円（対前年+14.4億円+15.2%、対計画+7.1億円）、純利益は73.5億円（対前年+9.7億円+15.2%、対計画+4.5億円）と増益でした。

2024年度3月期決算のポイント（アリアケジャパン単体）

□ 売上

売上高447.0億円（対前年+20.1億円+4.7%、対計画+7.0億円）と増収になりました。人流回復と人手不足需要により外食向けの伸長と値上げ効果によるものです。

□ 営業利益

59.2億円（対前年+2.1億円+3.7%）と増益となりましたが、対計画（66億円）では下回りました。営業利益率は13.3%と計画（15%）未達でした。価格改訂、リニューアルによる利益改善及び工場におけるコストダウンを実施しましたが、想定以上の円安の進行、原材料高の継続により吸収できませんでした。

□ 経常利益・純利益

輸入原料調達のためのデリバティブ取引による為替差益などにより、経常利益は79.2億円（対前年+14.2億円+21.9%、対計画+8.2億円）、純利益は55.6億円（対前年+17.9%、対計画4.7億円）と増益となりました。

[アリアケジャパン単体]カテゴリー別売上比率及び増減

カテゴリー	売上比率	前年比増減
食品メーカー	20%	+5%
外食	45%	+11%
CVS	34%	0%
輸出	1%	0%
合計	100%	+4.7%

2024年度3月期決算のポイント（海外子会社）

□ 売上

連結調整後152.8億円（対前年+22.7億円+17.4%）と順調に伸長しました。

中国、台湾、オランダが特に好調でした。フランスは、グループ会社間の調整額増により、微減収となりました。

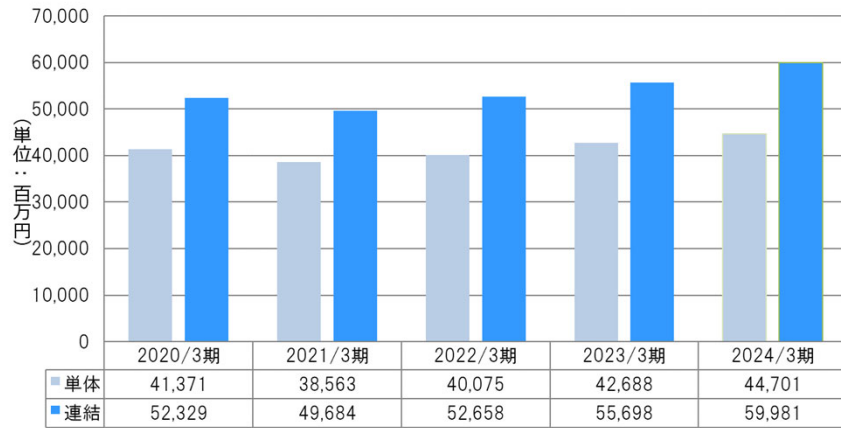
□ 営業利益

27.4億円（対前年、対計画同額）、営業利益率は17.9%でした。

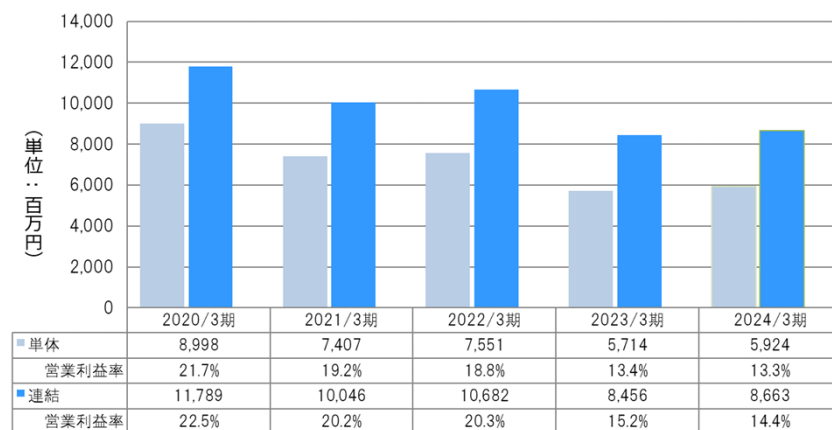
中国、台湾、オランダは引き続き営業利益率20%前後を維持しました。

ベルギー、フランスは、主にユーティリティ高の影響により、インドネシアは日本向け輸出が減少したことにより、減益となりました。

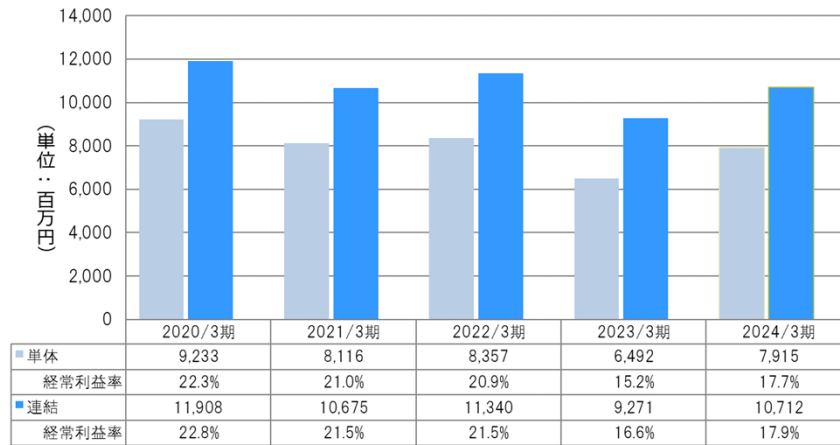
売上高の推移（単体・連結）



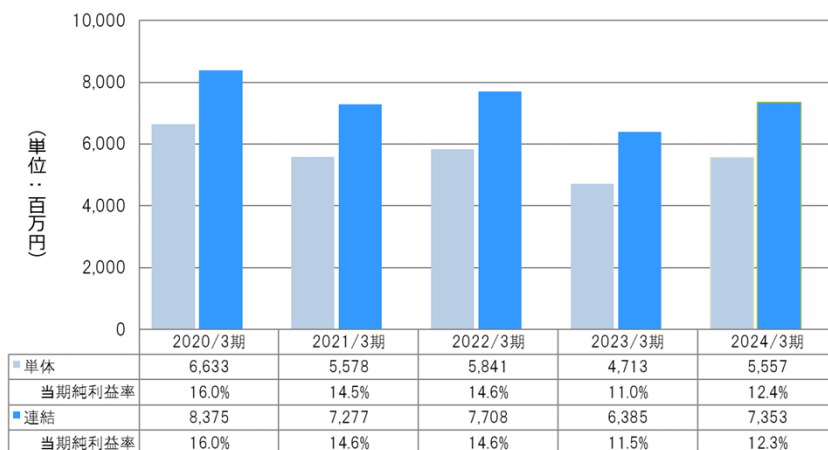
営業利益の推移（単体・連結）



経常利益の推移（単体・連結）

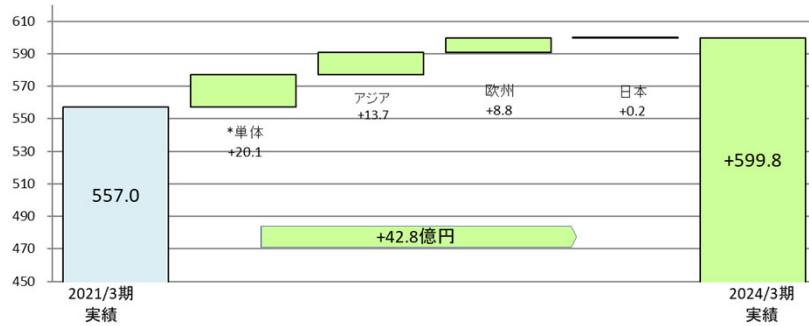


親会社株主に帰属する当期純利益の推移（単体・連結）



売上高（対前年実績）

（単位：億円）



売上高（対前年実績、対計画）

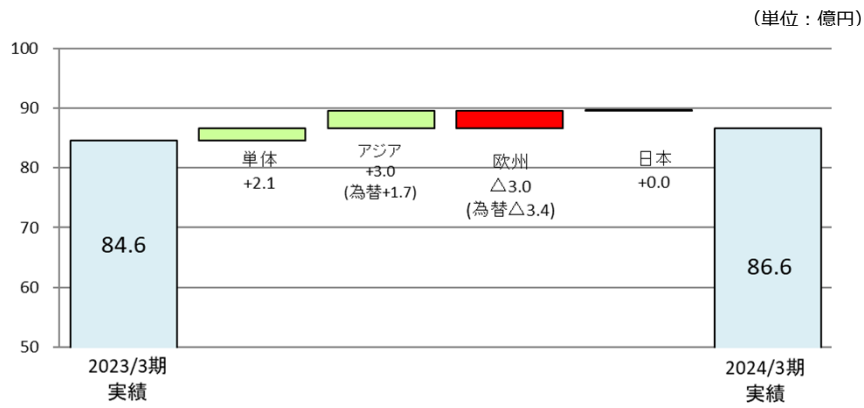
※子会社は連結調整後

（単位：億円）

	2024/3期 (A)	2023/3期 (B)	増減 (A-B)			計画	
			増減 (A-B)	%	為替中立	2024/3期 (C)	増減 (A-C)
アリアケジャパン	447.0	426.9	20.1	4.7%	-	440.0	7.0
子会社 計 ※	152.8	130.1	22.7	17.4%	9.5%	154.0	△ 1.2
アジア	95.4	81.7	13.7	16.8%	10.7%	95.3	0.1
欧州	54.4	45.6	8.8	19.3%	7.4%	55.9	△ 1.5
日本	3.0	2.8	0.2	7.4%	-	2.8	0.2
連結	599.8	557.0	42.8	7.7%	5.8%	594.0	5.8

EUR	157.12	141.47	15.65
人民元	19.93	19.01	0.92
台湾ドル	4.62	4.33	0.29
ルピア	0.0092	0.0085	0.0007

営業利益（対前年実績）



営業利益（対前年実績、対計画）

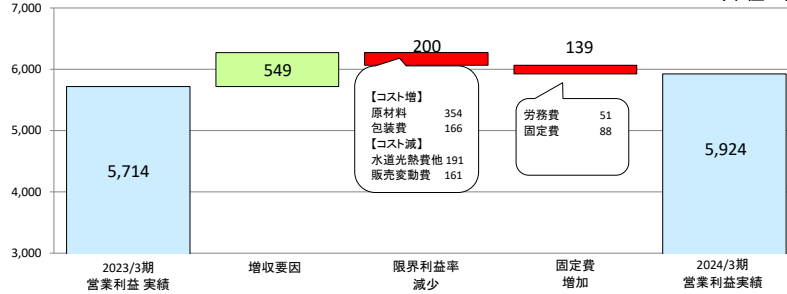
※子会社は連結調整後

(単位：億円)

	2024/3期 (A)	2023/3期 (B)	増減 (A-B)	%	為替中立	計画	
						2024/3期 (C)	増減 (A-C)
アリアケジャパン	59.2	57.1	2.1	3.7%	-	66.0	△ 6.8
子会社 計 ※	27.4	27.4	△ 0.0	-0.1%	8.2%	27.0	0.4
アジア	23.0	20.1	3.0	14.7%	8.5%	21.4	1.6
欧州	4.2	7.2	△ 3.0	-41.8%	-47.6%	5.4	△ 1.2
日本	0.2	0.2	0.0	8.8%	-	0.2	△ 0.0
連結	86.6	84.6	2.1	2.4%	0.5%	93.0	△ 6.4

【前期比較】単体業績の概要〔利益変動要因〕

■ **営業利益 5,924百万円** 前年比210百万円 (+3.7%) (単位:百万円)



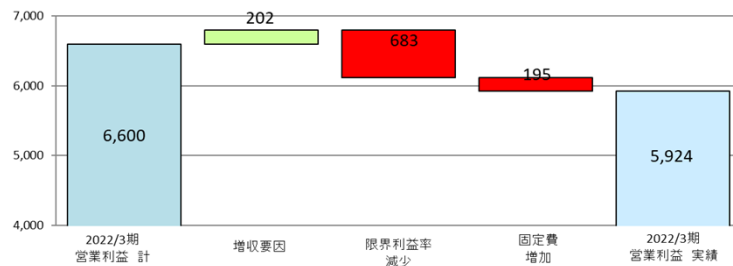
■ **経常利益 7,915百万円** 前年比 +1,423百万円 (+21.9%)

(単位:百万円)

増加要因	営業利益増加	210
	為替差益	1,057
	受取配当金他	304
減少要因	貸倒引当金繰入	△ 76
	雑損他	△ 72
	合計	1,423

【計画比較】単体業績の概要〔利益変動要因〕

■ **営業利益 5,924百万円** 計画比△676百万円 (△10.2%) (単位:百万円)

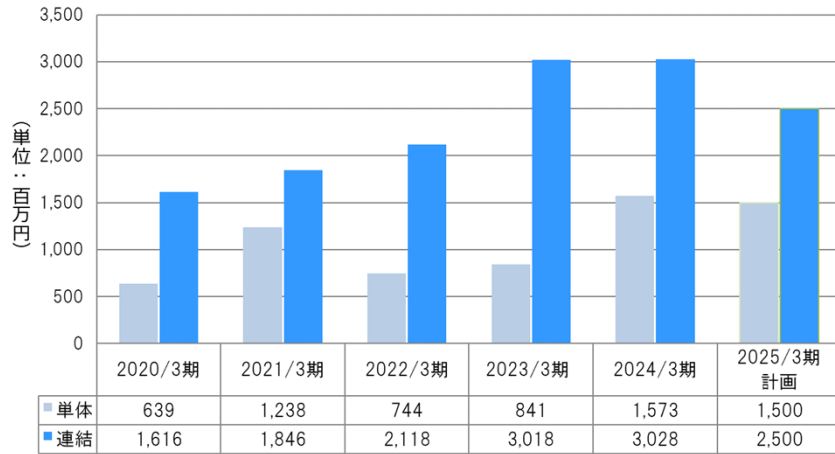


■ **経常利益 7,915百万円** 計画比+815百万円 (+11.5%)

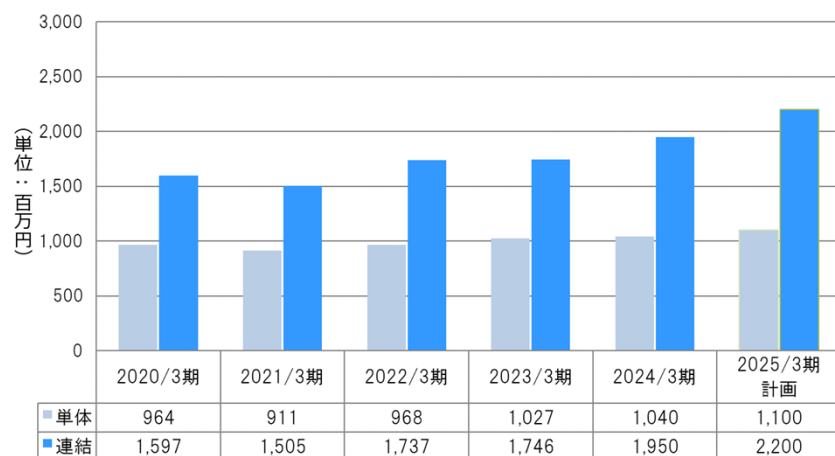
(単位:百万円)

増加要因	為替差益	1,300
	受取配当金他	337
減少要因	営業利益減少	△ 676
	貸倒引当金繰入	△ 146
	合計	815

設備投資の推移（連結・単体）



減価償却費の推移（連結・単体）



当期計画（地域別）

※子会社は連結調整後

（単位：億円）

	売上高			営業利益		
	2025/3期 計画 (A)	2024/3期 実績 (B)	増減 A-B	2025/3期 計画 (A)	2024/3期 実績 (B)	増減 A-B
アリアケジャパン	460	447	13	69	59	10
子会社 計 ※	168	147	22	30	27	3
アジア	109	95	13	26	23	3
欧州	57	54	2	4	4	△ 1
日本	3	3	△ 0	0	0	△ 0
連結	628	600	28	99	87	12

EUR	157.12	157.12	0.00
人民元	19.93	19.93	0.00
台湾ドル	4.62	4.62	0.00
ルピア	0.009	0.009	0.000

アリアケジャパン 2024年度

□売上

- 対前年 + 13億円の460億円を計画しております。
- 外食需要増、人手不足需要、スーパー惣菜、B2C製品（B2B2C含む）の拡販など行います。

□営業利益

- 営業利益率15%、66億円を計画しております。
- 今期も原材料費、ユーティリティ、運賃の値上がり、労務費の賃上げなど悪化要因があります。価格改訂、リニューアルによる利益改善（約20億円）、工場コストダウンの実行（約20億円）等により、営業利益率を改善致します。

□足元の状況

- 4月、5月は、対前年大幅売上増で、順調です。
- 早期の営業利益率15%超えを見込んでおります。
- 過度な円安による原材料の再度の値上がりが懸念されます。

海外グループ（アジア） 2024年度

□中国

- アリアケジャパンと同様に加工度の高い川下製品、最終B2C製品の販売に注力します。流通向け調理製品（予製菜）を開発中です。
- 消費控えにより外食がやや低調ですが、メーカー・CVSが伸長し、全体では順調です。

□台湾

- 引き続き外食向けを主体に売上増を計画しております。今後は、インダストリー向け需要の掘り起こしを行います。
- 足元は、1時期、輸入食品安全問題が発生しましたが、大きな影響なく順調です。

□インドネシア

- インドネシア、ASEANへの輸出に注力し売上増を図ります。
- 足元は順調に前年、計画を上回り推移しております。アリアケジャパングループ以外の売上比が前年の36%から約50%まで高まっております。

海外グループ（欧州） 2024年度

□ベルギー

- 既存製品のEU圏内での販売促進とUHT製品の拡販を行います。
- ユーティリティコスト増は緩和されますが、設備投資の減価償却費増が利益減要因になります。
- 2023年末から、UHT製品の販売を開始致しましたが、まだ認知が不足しており、マーケティングと販売・管理体制の強化と製品の追加等を行います。

□フランス

- EU圏内での販売促進とスプレー粉末製品の拡販を行います。
- ユーティリティコスト増は緩和されますが、日本向け輸出量の調整により、固定費率が上昇し利益減要因になります。
- スプレー粉末製品の販売は、販売ルートを有するオランダ（ヘニングセン）との販売提携を行い、グループシナジー効果を期待しています。

□オランダ（ヘニングセン）

- 長年の実績をベースに堅調な売上増と営業利益の確保を予定しております。

中期3年事業計画

□ 連結

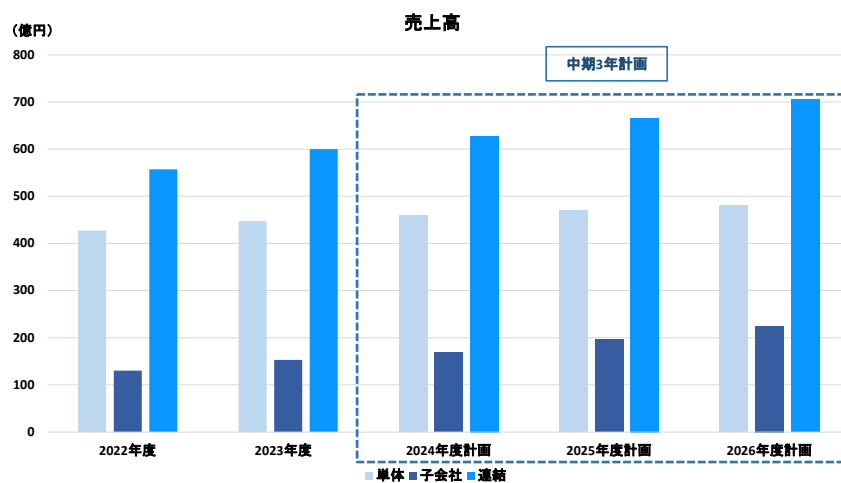
3年後の2026年度（2027年3月期）の連結売上高は705億円（海外売上高比率32%）、営業利益率19%を目指します。従来のB2B事業に加え、中国、ベルギーを主体に消費者向けのB2C製品の販売を強化し、売上増を図ります。

2026年度の営業利益率は19.5%を計画しております。

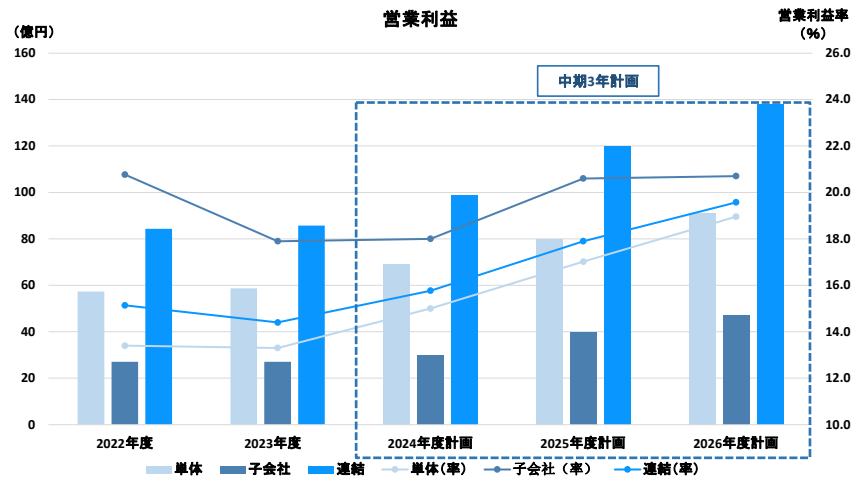
□ 単体（アリアケジャパン）

国内は、外食産業を中心とした人流回復による需要増、それに伴う人手不足需要を取り込むとともに、当社の強みを活かした製品の積極的な提案営業を行い、着実な売上増を図ります。製品の価格改訂、リニューアル、原材料費、水道光熱費等のコストダウンを着実に実行し、段階的に営業利益率の改善を図ります。2026年度の営業利益率は19.0%を計画しております。

中期3年事業計画 売上



中期3年事業計画 営業利益



ARIAKE JAPAN CO.,LTD.

26

中期3年事業計画

(単位：億円)

		実績		計画		
		2023/3期	2024/3期	2025/3期	2026/3期	2027/3期
売上高	単体	427	447	460	470	480
	連結子会社	169	192	203	233	267
	連結調整	△ 39	△ 39	△ 35	△ 40	△ 42
	連結売上高	557	600	628	663	705
営業利益	単体	57	59	69	80	91
	連結子会社	27	27	30	40	47
	連結営業利益	84	87	99	120	138

ARIAKE JAPAN CO.,LTD.

27

アリアケグループ成長のビジョン

□ 連結

成長戦略を推進し、特に成長余地の大きい海外グループ会社の売上を伸長させ、2030年には、2023年度の1.7倍の連結売上1000億円を目指します。

□ 海外

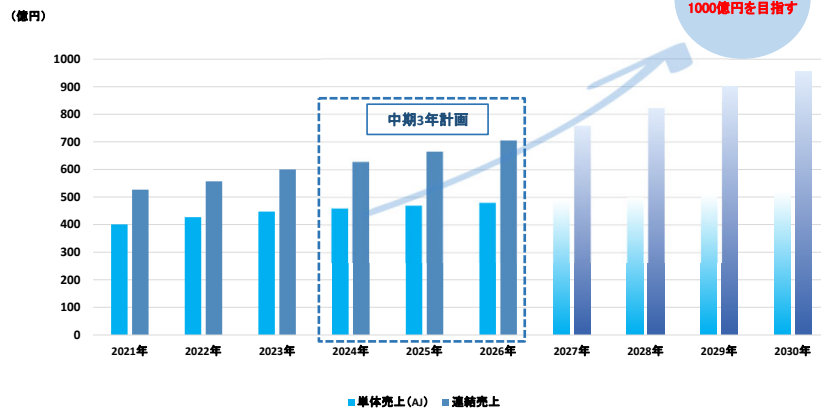
海外グループ売上を2030年度に2023年度153億円の3倍以上を目指します。中国、ベルギーは、従来のインダストリー、フードサービス向けB2B事業に加え、消費者向けB2C製品の販売を強化致します。さらに新たに米国工場の建設を行い、B2C製品を主体とした新規開発品の製造販売を行います。

□ 単体（アリアケジャパン）

外食産業を中心とした人流回復による需要増、それに伴う人手不足需要を取り込むとともに、積極的な提案営業を行うことでシェアを拡大し着実な売上増を図ります。

アリアケグループ成長のビジョン

- 中国、ベルギー工場のB2C展開
- 米国工場再進出
- 国内は、人手不足需要と強みを活かした提案営業でシェア拡大



中国市場の成長戦略

□新工場の建設

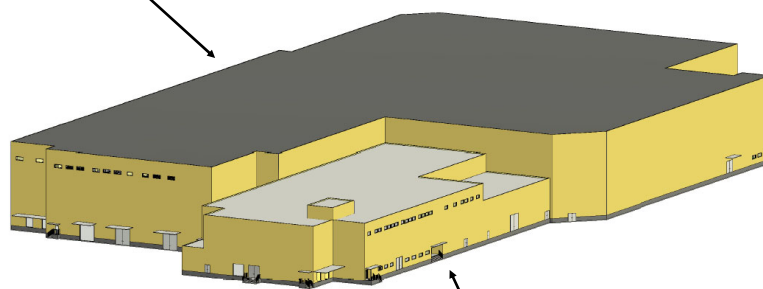
- 青島政府の方針転換により、青島有明の立ち退き要請の撤回と既存工場周辺土地の提供が示されたため、約24000m²の土地を購入予定です。それに伴い2000万\$の増資を行います。
- 既存第二工場に隣接する形で新工場の建設するよう設計中です。2026年度後半稼働を見込んでおります。投資額は約50億円を予定しております。
- 新工場は中国における労務費の上昇と少子化を念頭に、これまで蓄積した経験と最新技術を基にさらに先進的な自動化工場とし、生産性を飛躍的に向上させます。

□販売戦略

- 現在の主要顧客である外食、食品メーカー、CVSを中心にB2B製品を主体に売上増を図ります。
- 新工場では、消費者向け最終製品の製造が可能なラインを設置し、天然調味料をベースにした調理加工品（日式・中式予製菜）を製造・販売致します。販売先は、日系大手流通、現地EC企業、外食顧客などを予定しております。
- 日本との人口比から、今後も中国市場の拡大は期待でき、2026年度には100億円、2030年には200億円の売上を目指しております。

青島新工場建設イメージ

新工場 約18000m² 土地面積 約24000m²



既設第二工場 約4500m²

米国市場への再進出

□米国市場への再進出

- 東海岸バージニア州チェサピークに53000m²の候補地を選定致しました。1期工事として、8000m²程度のR&D 含む工場の建設を計画中です。
- 2024年度会社設立、2025年度設計～着工、2026年度末完成、2027年度稼働開始を予定します。
- 2027年度から販売を開始し、2030年度には40億円の売上を見込んでおります。

□製造・販売予定製品

- プラントベースの新規開発製品群
- 既存技術を活用したレトルト製品、ラーメンスープ

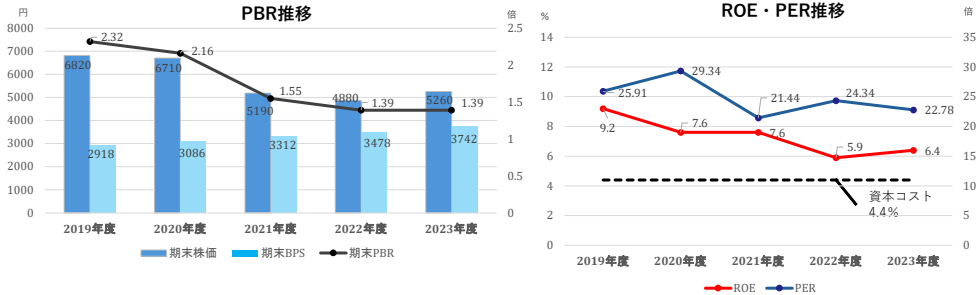
□販売先

- B2C スーパーマーケット、CVS
- B2B フードサービス、CVSベンダー、食品メーカー

設備投資予定

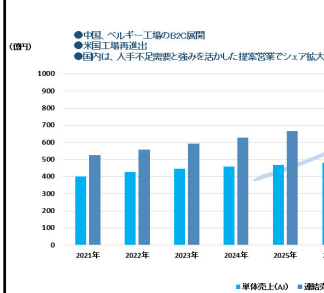
区分	2024年～2026年	2027年～2030年
中国 新工場建設・増設	50億円	50億円
米国 新工場建設・増設	50億円	200億円
台湾 工場増設	—	30億円
ベルギー 設備増設	—	40億円
アリアケジャパン 工場増設	—	—
アリアケジャパン(年次増強)	45億円	60億円
海外グループ(年次増強)	30億円	40億円
合計	175億円	420億円

資本コストや株価を意識した経営 現状分析



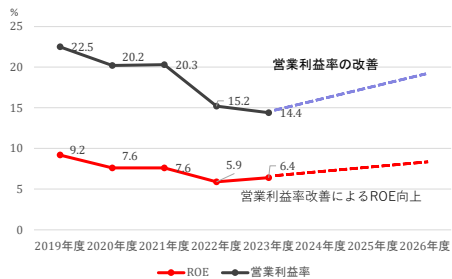
- 指標 株主資本コスト (CAPMベース) 資本収益性=ROE 市場評価=株価、PBR、PER
- ROEはCAPMベースの株主資本コスト (4.4%) を上回り、PBRは1倍を超えているが、低下傾向にある。
資本コストに対する超過 (エクイティ・スプレッド) を拡大し、継続的にROEを向上させる必要がある。
- 原材料高、円安等の影響を受け、収益性が低下している。
- 資本の活用と成長戦略の外部アピールが不足、資本市場、ステークホルダーの期待感が不足。

資本コストや株価を意識した経営 方針・目標と取り組み



$$PBR = ROE (\text{収益率}) \times PER (\text{成長期待})$$

収益性の改善と資本市場の成長期待感を向上



- 中長期的に収益性 (営業利益率) の改善に取り組む。価格改訂、リニューアル、コストダウン、VAなどによる利益改善実施。
- 収益性改善によるROEの向上。中期的にはROE8%、長期的には10%を目標とする。
- 資本市場との丁寧な対話と情報開示の充実を図る。中長期的な成長戦略の発信強化。
- 成長余地の大きい海外グループ会社に資源を集中、設備投資を行い売上を伸長させ、2030年に連結1000億円を目指す。
- DOE3%の基本方針を維持し、純資産に見合う株主還元を実施。
- 政策保有株の中長期的な企業価値向上への貢献度を検証、保有量の縮減を推進。

サステナビリティへの取組

- サステナビリティ経営戦略の策定（基本方針、ビジョン、経営方針）、サステナビリティ委員会の設置、マテリアリティ（重要課題）の特定プロセスの整備、マテリアリティの特定及び主要な取組指標KPIの設定などを行い、具体的な取り組み事例とともに、当社ホームページ上に開示致しております。
- 脱炭素にも積極的に取り組み、2021年4月より、九州第一・第二工場で使用する全電力を再生可能エネルギーへ変換、2022年5月より、自家消費型太陽光発電システム（オンサイトPPA）による再生可能エネルギー電気の使用を開始致しました。
- その他、LNG気化器の空温化、ボイラー設備からの廃熱利用、野菜原料の再利用等に取り組み、2022年度は2020年度比57%のCO₂削減を達成致しました。

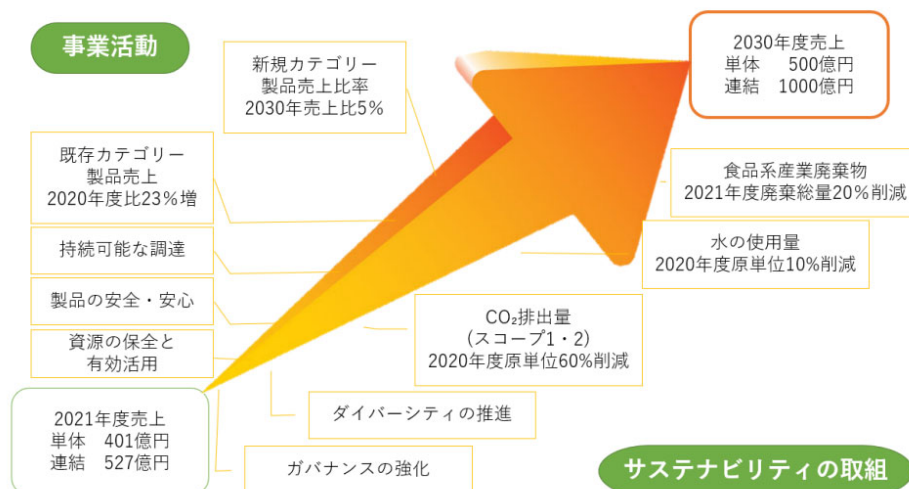


九州第二工場 自家消費型太陽光発電システム



LNG気化器空温式変換及び冷熱再利用

事業活動とサステナビリティの調和



アリアケファーム 循環型農業への取り組み

1 有機栽培による野菜の栽培 ※無農薬・無化学肥料

1. 玉ネギ (2,500 t)、ニンジン (300 t)、白ネギ (160 t) 等を自家栽培
2. 全量天然調味料原料として使用



■ 諫早湾干拓地(中央干拓) 全面積：587ha



2 スープガラの発酵肥料化による

循環型農業の実践



認定証

水耕栽培実証プラント
化学肥料を使わない水耕栽培野菜工場

設備概要

建築面積
約300坪 (1,135㎡)



栽培ベッド 34.5m×1.1m×15レーン
定植パネル 60枚/レーン
月間生産能力 こまつな2,100kg
ほうれんそう900kg

38

アリアケグループ「世界7極体制」



ARIAKE JAPAN CO.,LTD.

39

- 本資料は、会社内容をご理解いただくための資料であり、投資勧誘を目的とするものではありません。
- 本資料に記載されている業績予想（計画）及び、将来の予測につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものです。これには為替や金利、国際情勢、市場動向や経済状況、競争環境、生産能力、将来における売上、収益性、設備投資、その他の財務指標の状況、法的、政治的、または規制上の状況、疫病や健康問題の影響など、さまざまな不確定要素が内在しており、実際の業績は異なる場合があります。当社はこうした情報の正確性または完全性を保証しません。

第46期（2023年4月1日から2024年3月31日まで）
決算のポイント【単体】

2024年5月10日

（単位：百万円）

主要資産・負債等

総資産

	2024年3月期	2023年3月期	増減
総資産合計	115,926	109,951	5,976

流動資産

	2024年3月期	2023年3月期	増減
流動資産合計	52,781	61,231	△ 8,451
現金及び預金	33,413	42,724	△ 9,311
たな卸資産	7,843	8,490	△ 647
受取手形・売掛金	9,698	8,519	1,179

有形固定資産

	2024年3月期	2023年3月期	増減
有形固定資産合計	11,462	11,040	422
償却資産	7,347	6,911	436
土地	4,047	4,047	0
建設仮勘定	68	82	△ 14

投資等

	2024年3月期	2023年3月期	増減
投資等合計	51,639	37,633	14,006
投資有価証券	31,511	20,939	10,571
関係会社株式	12,051	12,051	0
関係会社貸付金	3,792	3,083	709
子会社出資金	1,147	1,147	0
長期預金	3,000	0	3,000

資本勘定（株主資本）

	2024年3月期	2023年3月期	増減
純資産合計	103,796	99,193	4,602
資本金	7,095	7,095	0
資本剰余金	7,958	7,958	0
利益剰余金	83,383	81,075	2,308
自己株式等	△ 2,044	△ 2,042	△ 2
評価・換算差額	7,403	5,107	2,296

損益計算書関係

品種別売上高

	2024年3月期	2023年3月期	増減	対前年比	摘要
売上高	44,701	42,688	2,013	104.7%	
液体スープ	3,233	3,334	△ 102	97.0%	
液体調味料	35,568	33,913	1,656	104.9%	
粉体調味料	3,865	3,613	252	107.0%	
その他	2,035	1,828	207	111.3%	

販売費及び一般管理費

	2024年3月期	2023年3月期	増減	摘要
販売費及び一般管理費	6,172	6,010	162	
(%)	13.8%	14.1%		
販売費	3,653	3,640	13	
労務費	1,123	1,063	60	
固定費	972	892	80	
技術開発費	424	415	9	

営業利益

	2024年3月期	2023年3月期	増減	摘要
営業利益	5,924	5,714	210	
対売上高比 (%)	13.3%	13.4%		

営業外損益

	2024年3月期	2023年3月期	増減	摘要
営業外損益	1,992	778	1,214	
営業外収益	2,148	786	1,362	
配当金	528	504	25	
有価証券利息	213	27	186	
為替差益	1,196	139	1,057	
その他	212	117	94	
営業外費用	157	8	148	
貸倒引当金繰入額	76	0	76	
支払補償費	72	0	72	

設備投資・減価償却費

	設備投資					減価償却費		摘要
	単体					連結	単体	
	単体合計	第1工場	第2工場	バックセンター	その他			
第42期（2020年3月）	639	54	557	27	1	1,616	964	1,597
第43期（2021年3月）	1,238	755	463	19	1	1,846	911	1,505
第44期（2022年3月）	744	117	549	66	12	2,118	968	1,737
第45期（2023年3月）	841	96	701	44	0	3,018	981	1,784
第46期（2024年3月）	1,573	477	995	94	7	3,028	1,040	1,950

10 設備未払及び設備手形の増加

3,018 有形固定資産の取得

人員（単体）

（単位：人）

	2024年3月期	2023年3月期
男	537	519
女	136	129
計	673	648
臨時（外数）	246	259

関係会社業績（連結調整前）

		売上高		営業利益		当期利益		設備投資		減価償却費	
		2023年度	2022年度	2023年度	2022年度	2023年度	2022年度	2023年度	2022年度	2023年度	2022年度
青島有明食品有限公司	(換算レート)	(@19.93)	(@19.01)								
	千円	324,381	285,424	62,122	58,708	50,279	52,503	19,534	2,042	8,965	9,218
	百万円	6,465	5,426	1,238	1,116	1,002	998	389	39	179	175
台湾有明食品股份有限公司	(換算レート)	(@4.62)	(@4.33)								
	千円	759,582	716,146	212,604	201,938	172,226	161,119	2,916	17,414	34,743	34,287
	百万円	3,509	3,101	982	874	796	698	13	75	161	148
F.P. Natural Ingredients SAS	(換算レート)	(@157.12)	(@141.47)								
	千ユーロ	12,526	12,780	557	1,190	696	1,230	852	3,495	714	794
	百万円	1,968	1,808	88	168	109	174	134	494	112	112
Ariake Europe NV	(換算レート)	(@157.12)	(@141.47)								
	千ユーロ	18,167	19,124	△ 1,901	373	△ 228	2,504	5,678	10,653	2,156	1,942
	百万円	2,854	2,706	△ 299	53	△ 36	354	892	1,507	339	275
Henningsen Nederland BV	(換算レート)	(@157.12)	(@141.47)								
	千ユーロ	22,090	20,424	4,860	4,985	3,724	3,747	155	359	374	247
	百万円	3,471	2,889	764	705	585	530	24	51	59	35
PT. Ariake Europe Indonesia	(換算レート)	(@0.0092)	(@0.0085)								
	百万ルピア	67,067	81,266	6,924	13,799	6,089	13,535	192	1,183	6,683	6,703
	百万円	617	691	64	117	56	115	2	10	61	57